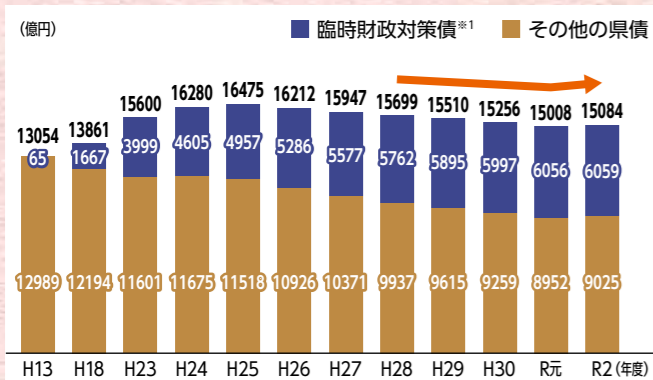


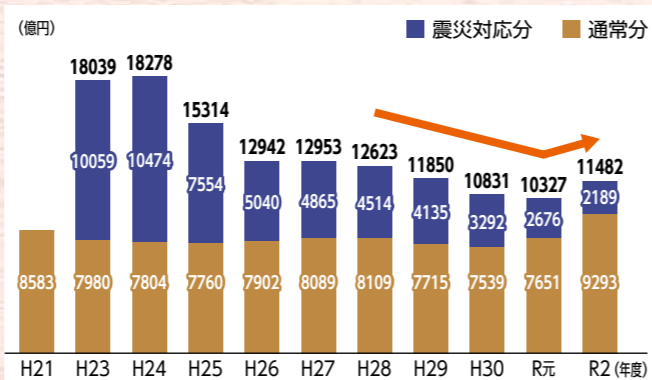
7年ぶり 借金増



新型コロナウイルス感染症の影響などによる減収を補うために県債発行を余儀なくされたため、県の借金である県債残高の総額は、7年ぶりに増加しています。

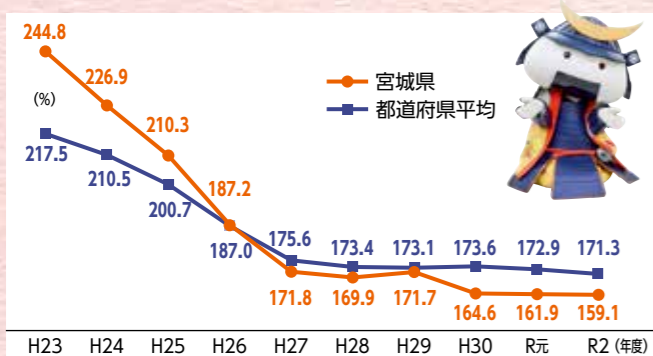
※1 国の財政事情により交付されなかった地方交付税の代わりに発行する県債。後年度に国が交付税を措置して返済する。

5年ぶり 歳出増



「宮城県震災復興計画」の最終年度を迎え、震災対応分の歳出は減少しましたが、通常分として新型コロナウイルス感染症対策費などの増加により、全体として5年ぶりに増加しています。

都道府県平均を下回る将来負担



将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す将来負担比率^{※2}は159.1%で、6年連続で都道府県平均を下回っています。

※2 高いほど借金(県債)や将来支払いする可能性のある負担などの割合が大きい。財政状況悪化により財政の健全化が必要となる基準は400.0%。

安定した貯金



県の貯金に相当する財政調整関係基金の残高は、前年度と比べて7億円の減少となったものの、401億円と安定した推移を保っています。

新型コロナウイルス感染症対策と持続可能な財政運営に向けて

復旧・復興事業のハード整備は落ち着きつつある一方、復興の進展に伴い生じた新たな行政課題への対応や、被災地のコミュニティ形成、被災者の心のケアなど、ソフト面には息の長い取り組みが必要です。

また、子育て支援や教育・福祉の充実、各分野における人材確保対策やデジタル改革の推進などの県政課題に加え、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策、社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策などさらなる財政需要が見込まれることから、県財政を取り巻く環境は引き続き厳しいことが予想されます。

令和3年2月に策定した「みやぎ財政運営戦略(第3期)」に掲げる歳入確保・歳出削減の取り組みの着実な実施に加え、震災復興の完遂と、持続可能な財政運営に向けて、全力で取り組んでいきます。

財政課 ☎022(211)2312

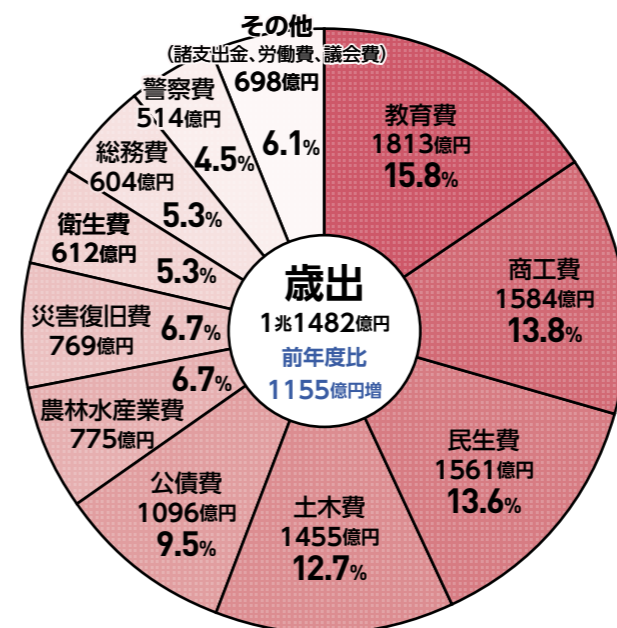
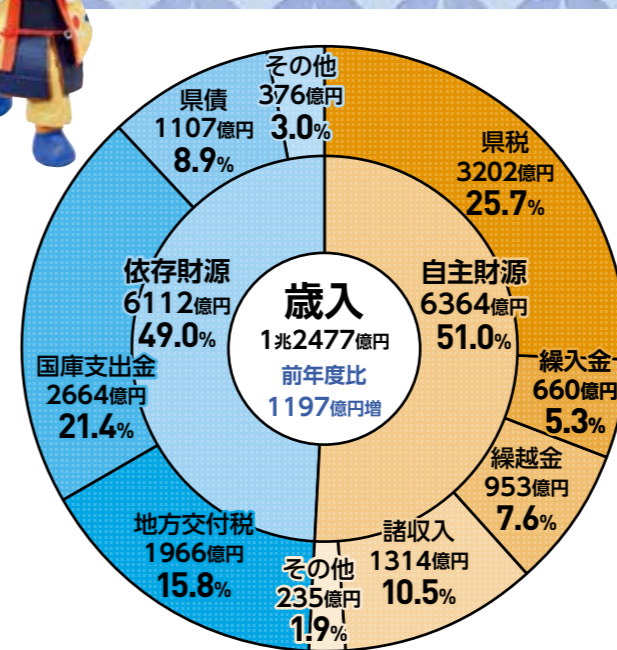
柔軟な予算配分が難しい状況が続く

県が自由に使えるお金のうち、人件費や借金返済に充てるお金(公債費)など、支出が避けられない必要な経費が占める割合(経常収支比率)は、96.3%になっています。

8年連続で95%を上回る値で、柔軟に予算を配分することが難しい状況が続いています。

令和2年度の全国平均は94.4%です。

令和2年度の決算額



(注)項目ごとの四捨五入のため、合計が一致していません

令和2年度は以下のような施策に特に力を入れました。

- ◆新型コロナウイルス感染症対策
- ◆復旧・復興の総仕上げに向けた施策
- ◆地域経済の活性化や各分野における人材確保策、教育・福祉の充実など県政の課題解決に向けた施策



みやぎ東日本大震災津波伝承館(石巻市)



GIGAスクール構想に基づいたICT教育の推進

新型コロナウイルス感染症対策と復興の総仕上げへ総力結集

— 令和2年度普通会計決算 —

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に直面するとともに、「宮城県震災復興計画」の最終年度となった令和2年度は、どの分野で重点的に事業が実施されたのか、県の財政状況はどうなのか。むすび丸と一緒に見ていきましょう。



仙台・宮城観光PRキャラクターむすび丸